

# 京都芸術劇場ニュースレター

10月6日(日)

## ロシア・ナショナル・バレエ 「眠れる森の美女」全2幕

「春秋座とバレエ公演」

歌舞伎劇場として建てられた春秋座で、何故バレエなのかと疑問に思われる方がいらっしゃるかも知れません。2001年にオープンした春秋座は初代芸術監督の市川猿翁(三代目市川猿之助氏)が歌舞伎とオペラがきちんと上演できる劇場として位置づけました。従って18メートルの間口に対し奥行きも18メートル弱あります。

歌舞伎劇場は横長の額縁が普通なのですが、オペラやバレエの時は約8メートル弱の高さをキープすることが出来ますので、ほとんど不自由は感じません。欲を言えば、あと1メートル高さが取れば理想的なのですが、この高さでも踊る方たちからは踊りやすいという評価を得ています。

春秋座で初めてバレエが上演されたのは2003年8月有馬龍子バレエ団による「ジゼル」でした。同年の10月にはサンクトペテルブルク・アカデミー・バレエが「白鳥の湖」を上演。そして、2009年11月に同じバレエ団による「くるみ割り人形」が、2011年10月には「ロミオとジュリエット」が上演されました。

次は、チャイコフスキーの3大バレエと言われる「眠れる森の美女」と思っていましたところ、長年、招聘業務においてご協力をいただいていたアルス東京さんからロシア・ナショナル・バレエの来日予定を聞きました。レパートリーに「眠れる森の美女」があったことはラッキーでした。春秋座では偏らずいろいろなジャンルのものを上演していますが、バレエはあらゆるダンスの基礎と言われておりますので、コンテンポラリーダンスを学んでいる人にもぜひ見ていただきたいと思います。もともと京都はバレエ人口が多いといわれています。本物に触れることでいい刺激を受けていただき、ますます京都のバレエ界がレベルアップされることを願っています。

京都芸術劇場 プロデューサー 橋市郎



### 特集

ロシア・ナショナル・バレエ

#### 「眠れる森の美女」全2幕

世界中で愛されるチャイコフスキーの名作バレエ—1P・2P

G. プッチーニ作曲

#### 歌劇「蝶々夫人」全2幕

美しい旋律の歌劇を春秋座で—3P

Percussion × Dance × Art

#### ニルヴァーナ—泥涸—

土取利行 meets サルドノ W. クスモ—4P

#### 春秋座で東の野村家と西の茂山家が華の競演!! 東西狂言 華の競演

—6P

春秋座の舞台に立ってみませんか。

#### 「演じるシニア企画」参加者募集

—7P

### KYOTO EXPERIMENT

#### 京都国際舞台芸術祭 2013

—5P

#### 今年で5年目を迎える春秋座恒例の独演会 立川志の輔 独演会

—6P

シリーズ最終章!

#### リーディング「ピュラデス」

—7P

チケットお問合せ先

### 京都芸術劇場チケットセンター

tel. 075-791-8240

営業：平日10:00-17:00・公演開催日

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター  
京都芸術劇場 春秋座・studio 21

606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

tel. 075-791-9207 fax. 075-791-9438

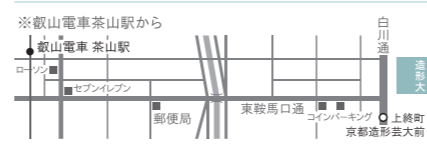
URL: <http://www.k-pac.org/>  
E-mail: [k-pac@kuad.kyoto-art.ac.jp](mailto:k-pac@kuad.kyoto-art.ac.jp)

京都芸術劇場ブログ

<http://www.kyoto-art.ac.jp/blog-theater/>

京都芸術劇場

検索



●JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から  
京都市バス5番「岩倉」行き乗車、  
「上終町・京都造形芸大前」下車  
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)

●京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から  
京都市バス204循環に乗車、  
「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)

●京阪電車出町柳駅から  
叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクでの  
ご来場はお断りします。

発行/編集 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター  
デザイン 吉羽 一之(シンプルホープ)

### 京都芸術劇場ニュースレター

vol.26 発行日—2013年7月1日

## 募集中!

### 【京都芸術劇場友の会 会員】

《京都芸術劇場友の会》では、劇場の活動をより知っていただくため、会員の皆様に公演の詳しい情報をいち早くお知らせし、また、チケット割引や先行販売を通じて、少しでも早く劇場をご利用いただけるようサービスを行っております。ご用意できる特典はさまざまですが、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

#### 《会員特典》

- ① 情報誌「京都芸術劇場ニュースレター」(年3回)や公演チラシを定期的にお届け!
  - ② 京都芸術劇場チケットセンター(窓口・電話・オンラインストア)で会員番号によるチケット予約、1公演お一人様4枚(公演により異なる)まで割引料金にて購入可能!(公演により、予約・割引のない場合、窓口・電話のみの対応の場合もございます。)
  - ③ 当劇場主催公演など、会員限定の先行販売あり!
  - ④ 春秋座、studio 21で行われる公開講座、公開シンポジウムなどもご案内!
- 有効期限は入金日より1年間です。更新毎に年会費(2000円)をお納めください。

#### 《入会方法》

Case 1. 劇場チケットセンター窓口にてお申し込み(窓口受付/月~金 10~17時)

Case 2. 郵便振替にてお申し込み

劇場郵便口座へ年会費2000円をお振込ください。

郵便局で青色の振込用紙にご記入ください。(振込み手数料別途100円程かかります。)

[口座番号] 00970-7-176517 [加入者名] 京都造形芸術大学 京都芸術劇場

[通信欄] ①友の会 新規入会 ②お名前(フリガナ) ③生年月日 ④FAX(あれば)

[ご依頼人] お客様の住所・氏名・電話番号(わかりやすい字ではっきりとご記入ください。)

### 【オンライン会員】

登録無料! 24時間ご予約可能! 選べる受取・お支払い方法!

公演情報をメールでお知らせ!

詳しくは、オンラインチケットストア(右記)へアクセス下さい。  
(友の会にご入会いただくと、自動的にオンラインに登録いたします。)

## 京都芸術劇場 春秋座 新芸術監督に、 歌舞伎俳優・四代目市川猿之助氏が就任!

5月1日付けで、春秋座芸術監督が市川猿翁(三代目市川猿之助)より四代目市川猿之助氏に引き継がれました。当劇場は三代目の理想の粋を集めて設計監修し、2001年5月にオープンした日本で初めての大学内本格劇場です。歌舞伎からオペラまで上演でき、また最先端のマルチメディア・パフォーマンスをはじめとする現代の多様な舞台芸術までも幅広くカバーできる設備を誇っています。

京都・南座での四代目襲名披露公演にあわせ、12月5日~23日まで春秋座にて「猿之助への軌跡展」を開催する予定です。

どうぞお楽しみに。



記者発表会にて。  
京都造形芸術大学学長 尾池和夫(左)、新芸術監督 四代目市川猿之助氏(右)

世界中で愛される  
チャイコフスキーの名作バレエ  
ロシア・ナショナル・バレエ  
「眠れる森の美女」全2幕

10月6日(日)

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

ロシア・ナショナル・バレエは、ロシア政府文化省の援助によって設立され、クラシックの名作とコンテンポラリーダンス作品を高いクオリティーで上演しているバレエ団です。世界が認めたバレエを春秋座でぜひ、お楽しみください。



クラシック・バレエといえば特に有名な「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「眠れる森の美女」。これは全てロシアで生まれたものある。「クラシック・バレエ」という言葉自体、広い意味で19世紀後半の高度に発展したロシア・バレエをさすといわれるほどである。

一バレエはイタリアで生まれ、フランスで発展し、ロシアで花開いた一と、いわれるように古典バレエが完成した地として、チャイコフスキーの存在とともに、マリウス・プティパがバレエの王道作品をロシアで誕生させたのである。

ロシアにおけるバレエの位置は、帝政ロシア、ソ連、そして現在のロシア共和国となっても重要視され、伝統に基づき、国全体で支えられている。優秀であれば国費で専門的に学ぶことのできる教育システムの充実、基礎をしっかりと身に付け、全人的に教育されたダンサーが本当に多く、層も厚い。

西欧からも敬愛されているロシアのクラシック・バレエは日本でももちろん、世界中から認められている。

アルス東京代表 佐々木伸代



親子で見よう!

お姫様や王子様による美しいストーリーと、童話の主人公や妖精が登場する『眠れる森の美女』は、バレエを初めて観るお子様にもぴったり。お得なチケットを利用して、親子で鑑賞しませんか。

\*親子割引券\*

一般・シニア 1名につき中学生以下2名までお子様には一般席1名3000円でご覧いただけます。

例: 大人1名+中学生以下2名の場合 8000円+3000円×2

●お申込みは京都芸術劇場チケットセンター(窓口・電話)のみ。

8月4日(日) 13:00~

詳細は公演スケジュールへ

関連企画「チャイコフスキー三大バレエに学ぶ」

ストーリーを知って  
『眠れる森の美女』を観よう

▼様々な踊りが登場

舞台は17世紀。王女オーロラ姫の洗礼式に招かれた「優しさ」「元氣」「のんき」など5人の妖精たちが姫の幸せな人生のための性格を約束します。

男性ダンサーが扮する悪役カラボスがユニーク!

▼魅力溢れるユニークな老婆「邪悪の精 カラボス」

そこへ招かれなかったことを怒る悪の妖精カラボスが登場。「姫は16歳の誕生日に糸つむぎの針に刺されて死ぬだろう」との呪いをかけます。しかしリラの精が「呪いを完全に消すことは出来ないが、姫は死ぬのではなく100年の眠りにつく」と予言するのです。

▼有名なパ・ド・ドウ

愛らしく美しい娘に育った姫は16歳の誕生日に4人の求婚者(王子)たちと踊ります。そこへ老婆に化けたカラボスが登場。針を仕込んだ花束を渡し、刺された姫は、そのまま深い眠りに。

100年の歳月の後、デジレ王子とその一行が森へ狩りにやってきました。リラの精が見せるオーロラ姫の幻影に魅せられた王子は城へと向かいカラボスを倒します。王子に口づけされた姫は目を覚まし、城も眠りから覚めます。

発表会やコンクールでもお馴染み!

▼童話の登場人物が登場! 見どころ満載の結婚式

王子と姫の結婚式。長靴を履いた猫、赤ずきん、青い鳥、シンデレラなど童話の主人公や妖精が祝福して踊ります。そして二人の華麗な踊りが華やかに祝宴を締めくくります。



蝶々さんの誇り高い最期が涙を誘う ロマンチックで美しい旋律の歌劇を春秋座で

G.プッチーニ作曲 歌劇「蝶々夫人」全2幕  
(原語上演・字幕付)

7月6日(土)・7日(日)

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

日本でも人気の高いG.プッチーニ作曲のオペラ『蝶々夫人』。中でも蝶々さんが歌うアリア「ある晴れた日に」は誰もが一度は聞き覚えのある名曲です。

今回は、1904年にミラノ・スカラ座で初演された初演版を元にミラマーレ・オペラオリジナルの改訂版で上演。作曲家プッチーニの音楽を魅力的に伝えようと、公演監督、指揮者、演出家、プロデューサーが一丸となりアイデアを出し合いました。

またスーパーバイザーに古典舞踊はもとより創作舞踊活動にも力を注ぎ、数多くの新作を発表、振付けも行う日本舞踊 飛鳥流宗家・飛鳥峯王さんを向かえ、二代目家元・飛鳥珠王さんに衣装を、三代目家元・飛鳥左近さんに所作指導を依頼。さらに末生流笹岡家元・笹岡隆甫氏による「いけばな」で舞台に彩りを添えます。

日本を舞台にしたオペラにふさわしく、春秋座の歌舞伎スタイルの舞台機構を使用した『蝶々夫人』は、他の劇場では決して観ることができない作品になるでしょう。

あらすじ…

舞台は100年ほど昔の長崎。元士族の娘で今は芸者に身をよつしている蝶々さんはアメリカ海軍士官ピンカートンと結婚することになる。しかし、つかの間の気紛れのつむりのピンカートンはアメリカへ帰ってしまう。いつの日か戻ってくるといふ言葉を信じて待ち続ける蝶々さん。3年後、ピンカートンは日本に戻ってくるがアメリカで別の女性と結婚しており、帰りを待ちわびていた蝶々さんの思いを知って深い後悔の念に駆られ去ってゆく。蝶々さんはピンカートンとの間に生まれた子供に別れを告げ、そして…

『蝶々夫人』の舞台と一緒に作ってもらえないか。なんとも、創作意欲をくすぐるご依頼です。鏡を使用したシンプルな舞台構成が定まり、まず思い浮かべたのは太く曲がった幹を持つ1本の木でした。植物の美しさは、不思議なほど素直に我々の心の中に入ってきます。緑の葉をつけたその大木が、時には喜びの色、時には悲しみの色に染まって……。きっと舞台の中で変幻自在にその姿を変え、私たちの五感を刺激してくれることでしょう。

美術/いけばな 笹岡隆甫

日本を舞台にした日本人が演じるオペラ

6月上旬、出演者の方々が勢揃いし制作記者会見が行われました。公演監督の松山郁雄さんは「日本を題材とした作品ですが、プッチーニ作のイタリアオペラ。それを今回は日本で日本人が演じます。これは大変意味のあることだと思います。春秋座は、そういう意味でも最高の劇場だと思っています」。指揮者の牧村邦彦さんは「通常上演される現行版ではなく、初演版に近い楽譜を使うことにこだわっています。こちらの方が蝶々さんの悲劇性がクローズアップされているのです。今回はさらに春秋座に合わせたバージョンを作っているため、より作品の真髄が分かり、お楽しみいただけるのではないかと考えています」。演出の井原広樹さんは「今回、舞台に笹岡隆甫さんの作品を置くのですが、景色としてはモダンな『松羽目』の雰囲気になればと思っています」。それぞれ作品に対する意気込みを見せてくださいました。素晴らしい舞台になりそうです。ぜひ、お楽しみに。

今、日本の伝統芸能である歌舞伎の持つ様式美が各方面から注目されるようになった。市川猿翁(三代目猿之助)が、『金鶏』(1984)オペラ『影のない女』(1992)などの演出を要請されたのも、その歌舞伎の持つ様式美を期待されたことであつた。この度は日本で日本人が演じる『蝶々夫人』である。最善を尽くして、この様式美を堪能していただける舞台創りを出演者、スタッフ一同が目指しておられる事を見守りたいと思う。

スーパーバイザー・飛鳥峯王

日本の“心”

日本の“いのち”を謳い上げた  
“蝶々夫人”!!

私はこの作品の  
日本の時代の“色”をおつける  
お役目をお手伝いさせて頂いています。  
あなたを箱庭の世界に  
お誘い申し上げます!

衣装・飛鳥珠王

井原広樹さん演出の『蝶々夫人』で、所作指導をさせて頂く事となり、わくわく致しております。日本舞踊の基本は無対象の表現です。差す手、引く足に、何を表現するのか…。出演者の皆様の力の見せ所です。愛に満ち溢れた新居。石畳の街。港に着く船。花の咲き乱れたお庭。蝶々夫人の生きた世界を、ご覧頂く皆様に感じて頂ける舞台を、出演者の皆様と創って参りたいと思います。

所作指導・飛鳥左近



前列左より演出・井原広樹、公演監督/神宮・ヤマドリ役・松山郁雄、指揮・牧村邦彦。後列左よりスズキ役・松浦麗(7日)、ピンカートン役・笹岡博昭(7日)、蝶々夫人役・江口二美(7日)、川越塔子(6日)、ピンカートン役・大澤一彰(6日)、シャープレス役・片桐直樹(7日)

Percussion × Dance × Art

ニルヴァーナ―泥涸―土取利行 meets サルドノ W. クスモ

9月13日(金)

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

世界的なパーカッショニスト  
土取利行と、  
インドネシアの革新的舞踊家  
クスモが出会う。

『泥涸』とは、土取利行の  
パートナーである

故・桃山晴衣（音楽家）が

三味線で演奏を続けてきた曲で、  
ニルヴァーナ（涅槃）の漢訳です。  
この曲を基に、さまざまな  
楽器を用いてインドネシアの  
舞踊との交響を目指します。

主催―  
京都造形芸術大学舞台芸術研究センター  
企画・制作協力―  
東京文化会館

「ニルヴァーナ泥涸」公演にあたって  
港 大尋  
舞踊や音楽について冷静に考えようとする  
と、わたしたちはいやでも発生論にたどりつ  
くことになる。古代の芸術はどのようなもの  
だったか。そもそも数万年前に「舞踊」とか「音  
楽」などというジャンルが果たしてあったの  
かどうかわからない。有史以前の人類の知や身体  
の在り方に想像を巡らせてみることは、現代を  
生きるわたしたちのある根源的な問いかけに  
なり得るだろう。

一方で発生論とは不可知論と表裏一体であ  
る。たった数百年前の音楽でさえ再生するこ  
とはむしろ不可能だ。たった 100 年前のニ  
ジンスキーの身振りさえ、誰も体験するこ  
とはできない。数千年前の縄文人が自らを  
縄文人と名乗っていたわけでもなく、そもそ  
も名乗らず存在しなかったかもしれないのだ。  
ネガティブに捉えれば発生論とは単なる絵空  
事の類でしかない、ということになってしまう。

では考古学やその外輪の民俗学、ひいては  
人類学のような知の技術は結局は無駄骨であ  
り、ハナから限界のある学問なのだろうか。  
いや、そうではないだろう。いまだに「進歩」  
を信じて疑わない実証科学を考えてみれば  
いい。クーンやフーコーを持ち出すまでもなく

「真理」とは常に塗り替えられ得る歴史に過  
ぎないのだから、乱暴に言えば実証科学とは  
何かを実証した気になっているだけ、とい  
うくらいのものである。そのような虚構＝フ  
ィクション＝物語に安易に倚りかからないこ  
と。そのような共同幻想から離れて別様の思  
考をすること。それこそが「野生の思考」で  
あり、舞踊家の身体や音楽家の耳が捉える、  
世界の捉え方なのだろう。

土取利行という古代からの来訪者と、サル  
ドノという剥き出しの身体との出会いその  
ものが、またひとつの発生論ではなく何だろ  
う。創造とは常に発生論に関わる。「分から  
ない」のではなく「分けられない」こと、そ  
れが発生論の本質だといつていい。この『ニ  
ルヴァーナ泥涸』においてわたしたちは、芸  
術でも芸能でも考古学や民俗学でもあり、  
なおかつそのどれでもないような出来事に  
立ち会うことになるだろう。

港大尋――

(みなと・おおひろ／音楽家)  
バンド「ソシエテ・コントロール・レタ」を  
率い、詩人やダンサーとのコラボレーション  
など演奏活動しながら、作曲家として劇音  
楽やダンス音楽、CM などの作曲作品を書  
き、同時にシンガーソングライターとして  
活動。考古学・民俗学・人類学などの視点  
から、芸術全般を捉え直すような作業を続  
けている。

Percussion × Dance × Art



土取 利行  
つちとり としゆき  
(音楽家、パーカッショニスト)

1950 年香川県生まれ。70 年代より近藤等則、坂本龍一、阿部薫らと音楽活動を展開し、フリーインプロヴィゼーションの鬼才として、海外の優れた即興演奏家とも演奏を重ねる。1976 年よりピーター・ブルック国際劇団で音楽監督、演奏家として「マハーバーラタ」「テンペスト」「ハムレットの悲劇」等を手掛け、世界各地で公演する。同時に、アジア、アフリカなど世界各国の民族音楽を探求。1987 年より郡上八幡に故・桃山晴衣と立光学舎を創立し、地元の芸能文化再生、古代音楽の研究、日本の芸能研究に取り組む。80 年代後半より古代音楽三部作アルバムとして「銅鐸」「磐石（サヌカイト）」「縄文鼓」を発表。また田中泯、大野一雄、大野慶人、山田せつ子らダンサー、舞踏家とのコラボレーションも多い。韓国を代表する現代舞踊家、キム・メジャとのコラボが話題をよび 2011 年春秋座公演では好評を得た。著書に「縄文の音」「壁画洞窟の音」がある。



サルドノ W. クスモ  
Sardon W. Kusumo  
(振付、舞踊家)

1945 年、インドネシアジャワ島の古都ソロ生まれ。幼少より古典舞踊を学び、ニューヨーク滞在を経て、60 年代後半より伝統と現代を融合させた意欲的な作品を発表。現在では、演出家、振付家、舞踊家、映像作家、画家とその活動は多岐に渡る。1970 年代後半より、環境保全への強いメッセージを発信し、世界を舞台に活躍。「マハーブタ」（1988）や植民地支配とジャワの精神世界を謳った「ゴングの響きの彼方より」（1993）等、アジアにおける最先端の振付家の一人として称賛され続けている。近年では、色彩豊かなペインティングとマルチメディアによる公演「雨の色彩の森林」（2010）をロサンゼルスで開催し大きな話題となった。また、インドネシアジャカルタ芸術大学にて、後継の指導にもあたっている。

KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2013

9月28日(土)―10月27日(日) ●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

KYOTO EXPERIMENT 2013  
京都国際舞台芸術祭 Kyoto International Performing Arts Festival

KYOTO EXPERIMENT は今年で 4 回目を迎える国際舞台芸術フェスティバルです。春秋座では、昨年の『datamatics [ver.2.0]』につづき、池田亮司氏の新作『superposition』を上演。日本初演、しかも 2013 年は日本ではここ春秋座のみの開催です。また、昨年、春秋座での「義経千本桜」通し上演で話題を呼んだ木ノ下歌舞伎が今年も KYOTO EXPERIMENT の公式プログラムとして登場！ どちらも、お見逃し無く。

主催：京都国際舞台芸術祭実行委員会  
(京都市、京都芸術センター、公益財団法人京都市芸術文化協会、京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター)

- 会場――  
京都芸術センター 京都芸術劇場 春秋座 元・立誠小学校  
京都府立府民ホール アルティ Gallery PARC
- 公式プログラム参加アーティスト――  
チェルフィッチュ 池田亮司  
マルセロ・エヴェリン／デモリション Inc. ロラ・アリアス  
庭劇団ペニノ ビリー・カウイー  
木ノ下歌舞伎 高嶺格  
She She Pop  
Baobab

10月12日(土)・13日(日)

木ノ下歌舞伎ミュージアム“SAMBASO”  
～バババツとわかる三番叟～

総合演出：杉原邦生 監修：木ノ下裕一 特別出演：茂山童司

木ノ下歌舞伎版「三番叟」の上演に加え劇場内の各所を使ったレクチャーパフォーマンスを展開。  
舞台上はもちろんその他に様々なエリアを設け「三番叟」について“バババツとわかる”ようにツアー形式で鑑賞して頂きます。



撮影：堀川高志

木ノ下歌舞伎と狂言師・茂山童司（特別出演）とのコラボレーションも必見です。

木ノ下歌舞伎  
『三番叟』

演出・美術――  
杉原邦生  
原案・監修――  
木ノ下裕一  
出演――  
芦谷康介  
京極朋彦  
竹内英明

10月25日(金)・26日(土)

superposition 池田亮司

池田亮司の待望の新作パフォーマンスが遂に京都で日本初演を迎える。  
池田はパリを拠点に世界的に活躍する、電子音楽家でありヴィジュアル・アーティスト。昨年の KYOTO EXPERIMENT でも、オーディオヴィジュアル・コンサート『datamatics [ver.2.0]』をここ春秋座の大空間で発表し、強烈な印象を与えたことは記憶に新しい。

『superposition』は 2012 年に開始された新シリーズであり、昨年 11 月にパリ・ポンピドゥーセンターで初演され、以降ヨーロッパ各地の上演では熱狂的に迎えられてきた。この『superposition』シリーズは、原子スケールでの自然界の存在に迫ろうとする野心に溢れたプロジェクトであり、量子力学の数学的概念に触発されている。パフォーマンス・ヴァージョンとなる本作では、彼の作品では初の試みとなる生身の身体としての 2 名の出演者が、オペレーター、指揮者、観測者、そして試験官としてステージに登場する。ステージ上のすべての構成要素―サウンド、ヴィジュアル、物理現象、数学的概念、人間の行為そして無作為性―は、重層状態 (superposition) となり、これらは一つのパフォーマンスの中で、絶えずオーケストレーションされると同時に、脱オーケストレーションされるのだ。

合計 22 面となるスクリーンが奥行きをもって重層的に配置され、そこにミニマムでありながら立体的なサウンド、そしてパフォーマンスの身体によって構成される崇高かつ圧倒的な空間体験は、池田流の「世界」への触れ方、近づき方と言ってよいだろう。

橋本裕介／KYOTO EXPERIMENT プログラム・ディレクター

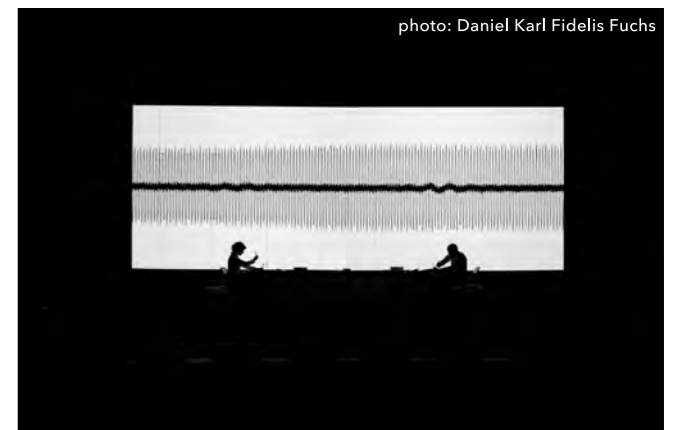


photo: Daniel Karl Fidelis Fuchs

Concept, direction and music > Ryoji Ikeda in collaboration with Performers > Stéphane Garin, Amélie Grould  
Programming, graphics and computer system > Tomonaga Tokuyama, Norimichi Hirakawa, Yoshito Onishi  
Optical Devices > Norimichi Hirakawa Stage manager > Simon MacColl Technical manager > Tomonaga Tokuyama  
Production assistant > Daisuke Sekine  
Production > Ryoji Ikeda Studio (Artistic direction: Emmanuelle de Montgazon ; Administration: Yuko Higaki),  
Quaternaire (Producer and artist management : Sarah Ford ; Associate producer : Laurie Uprichard ; Administration : Kathleen Aleton ;  
Coordination and marketing : Joanna Rieussec), Forma (Artistic Director : David Metcal)  
World Première on 14, 15, 16 November 2012 at the Centre Pompidou with the Festival d' Automne à Paris (FR)  
> Avant-Première on 5 August 2012 at ZKM (Karlsruhe, DE)  
Commissioned by > the Festival d' Automne à Paris (FR) for the musical part  
Created and developed at > Parc de La Villette (Paris, FR), YCAM Yamaguchi Center for Arts and media (JP), ZKM (Karlsruhe, DE)  
Coproduction > Festival d' Automne à Paris (FR), Les Spectacles Vivants - Centre Pompidou (Paris, FR), Barbican (London, UK),  
Concertgebouw Brugge (Bruges, BE), Festival de Marseille \_ danse et arts multiples (FR), Kyoto Experiment (JP), Parc de La  
Villette (Paris, FR), STRP Art and Technology Festival (Eindhoven, Netherlands), ZKM (Karlsruhe, DE) With the support of the  
DICRAM-CNC (FR)  
主催：Kyoto Experiment

関連企画シンポジウム―― 10月27日(日) 17:00

「量子の新世紀」のアート&サイエンス

池田亮司＋佐藤文隆（甲南大学／京都大学名誉教授）＋  
丸山善宏（オックスフォード大学）＋浅田彰

京都芸術劇場 春秋座 入場無料

主催：京都造形芸術大学大学院学術研究センター  
共催：京都造形芸術大学舞台芸術研究センター、KYOTO EXPERIMENT

3年ぶり！春秋座で東の野村家と西の茂山家が華の競演！！

## 東西狂言 華の競演

7月12日(金)

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。



京都芸術劇場では、3年前の2010年2月に、「春秋座 狂言 立ち合い」として、東の和泉流野村家と西の大蔵流茂山家のヴェテランと若手に、同じ演目を舞っていたという企画を立て、大評判でした。特に萬斎の『三番叟』と逸平の『三番三』は、それぞれが自分の芸と流派の演出の最良の部分に舞台を展開して、いつも見慣れた観客さえも、その舞台に食い入るように引き込まれるという情景を出現させました。

今回は、いささか趣向を変えて、東西の二流派が、同じ曲に出演し、一曲の中でそれぞれの演技を競うという「競演」の試みに挑戦していただきます。髭に「櫓」を構えて防戦する「大髭」の夫(野村萬斎)と、それを抜こうとする女房(茂山逸平)とその手下とが、派手な立ち回りを演じる、奇想天外の大曲『髭櫓』がその曲です。併せて、一種の不条理喜劇とも言える『止道方角』を、茂山家を担う千五郎、七五三のお二人にお願いし、また、「語り」の芸を重んじる野村家の代表的な演目である『奈須与市語』を、人間国宝の野村万作師に語っていただき、狂言の言葉の持つ劇的・演劇的な力と深みを十分に味わっていただきます。『髭櫓』には囃子が入りますので、「春秋座一能と狂言」にいつもご出演いただいている素晴らしい囃子方の方々に、いわば「演奏会形式」である「素囃子」を聞かせていただくのも、今回の目玉の一つです。

舞台芸術研究センター所長・演出家 渡邊守章

『止道方角』	主人 茂山千五郎 太郎冠者 茂山七五三 叔父 丸石やすし 馬 山下守之
『奈須与市語』	野村万作
「素囃子」	笛 藤田六郎兵衛 小鼓 大倉源次郎 大鼓 亀井広忠 太鼓 前川光範
『髭櫓』	シテ 髭男 野村萬斎 アド 女房 茂山逸平 小アド 注進 石田幸雄 立衆 茂山正邦、茂山茂、茂山童司、島田洋海、茂山宗彦 笛 藤田六郎兵衛 小鼓 大倉源次郎 大鼓 亀井広忠 太鼓 前川光範 地謡 深田博治、高野和憲、中村修一、内藤連、岡聡史
トーク(予定)	野村萬斎 茂山逸平 司会 渡邊守章

前売り完売

今年で5年目を迎える春秋座恒例の独演会

## 立川志の輔 独演会

9月7日(土)・8日(日) ●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

本年度で5回目を迎える春秋座での「立川志の輔 独演会」。

2011年、歌舞伎を題材にした演目『中村仲蔵』では歌舞伎劇場の花道を使った演出で客席が大いに沸き、前回2012年には2時間に及ぶ新作落語『大河への道～伊能忠敬物語～』を上演するなど毎年、春秋座ならではの独演会が話題を呼んでいます。

古典・新作を問わず落語に新しい息吹を吹き込む“志の輔らくご”。

今年は春秋座でどんな噺が出るのかご期待下さい。



60歳以上の方対象。2014年3月、春秋座の舞台に立ってみませんか。

7月—2014年3月

## 「演じるシニア企画」参加者募集

60歳以上のみなさん。  
つぎはアナタが舞台に立つ番です！

「演じるシニア企画」とは…

60歳以上の皆様を対象に、「春秋座の舞台に立つ」という目標のもと、2013年9月～2014年1月まで毎月1回、6名の講師のワークショップ(体験型講座)を経て、2014年2月から演出家・舞台美術家の杉原邦生氏とともに作品創作をおこない、その作品を2014年3月に春秋座の舞台で上演するという企画です。

ワークショップでは、舞台がどんな場所なのか、舞台に立つ各ジャンルのプロはどんな緊張感と心構えを持ち、どんな「身体」でいるのかを感じ、知ってもらいます。

不安な方は、まず「初回ワークショップ&面談」に参加いただき、いろいろと質問されるのはいかがでしょう。

皆様のご参加をお待ちしております。

参加資格——

60才以上の方。  
京都市内でのワークショップ、稽古ならびに公演本番に通える方

締め切り…6月30日(日)

※詳細はHPなどで随時発表。  
不明な点はお電話にてお問合せください。  
申し込み用紙は春秋座にて配布。劇場HPでもダウンロードができます。

問い合わせ: Tel. 075-791-9437

「春秋座に立つ」ために皆様には初回ワークショップを含めた全7回のワークショップを、必ずご受講いただきます。スケジュールと講師は以下をご確認ください。

日時・場所	テーマ・講師
7月13日(土) 13:00— 京都造形芸術大学内 ※詳しい場所は参加者の皆さんにお知らせいたします。	初回ワークショップ&面談 杉原邦生(演出家・舞台美術家) まずは、今回の作品の演出家・杉原邦生のワークショップを体験。その後、ワークショップがどんな感じで行われるのか、作品に向けての稽古とは??などなど、不安なことを面談でお気軽にご相談ください。こちらからも、いくつか質問させていただきます。
8月24日(土) 14:00— 春秋座	第2回 舞台を知る! その1・劇場 橋市郎(京都造形芸術大学 舞台芸術研究センタープロデューサー) 春秋座が一体どのような劇場なのか。舞台機構や特徴をプロデューサーの橋が詳しくご紹介いたします。
9月28日(土) 14:00— 京都芸術劇場 studio21	第3回 舞台を知る! その2・照明(あかり) 岩村原太(照明家) 舞台作品に欠かせない「照明(あかり)」。舞台を日常空間にも見せ、非常識空間にも魅せる、その効果が生まれるポイントを探ります。
10月10日(木) 18:30— 京都市内会場	第4回 舞台に立つ身体を知る! その1・演劇 川村毅(劇作家・演出家)
11月2日(土) 14:00— 河村能楽堂(京都市内)	第5回 舞台に立つ身体を知る! その2・能楽 河村博重(観世流能楽師・重要無形文化財(総合指定)保持者)
12月21日(土) 14:00— 京都市内会場	第6回 作品創作のためのワークショップ(舞台に立つ身体を知る! その3) 杉原邦生(演出家・舞台美術家)
2014年1月 中旬 2日間 京都市内会場	第7回 舞台に立つ身体を知る! その4・ダンス 山田せつ子(ダンサー)
2014年2月から週5日ほど 京都市内	本番に向けた稽古 演出: 杉原邦生 (稽古日数は応相談)
2013年3月22日(土)・23日(日) 春秋座	公演

※講師のプロフィールは劇場HPからご確認ください。



川村毅構成・演出パゾリーニ劇曲全6作品上演シリーズ最終章!

## リーディング「ピュラデス」

6月22日(土)・23日(日)

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

パゾリーニの旅、いよいよ最終地へ…

劇作家・演出家の川村毅がニューヨークの古本屋で偶然手にしたガルザンティ社出版の“パゾリーニ全集戯曲編”。2003年、そこに収められた全6作品のうち『オルジア』をリーディング公演として上演したことをキッカケに、その他の全5作品を日本で初翻訳、初上演に挑戦してきた川村毅のパゾリーニとの旅は、この京都での『ピュラデス』のリーディング公演でついに終着地へと辿りつきます。

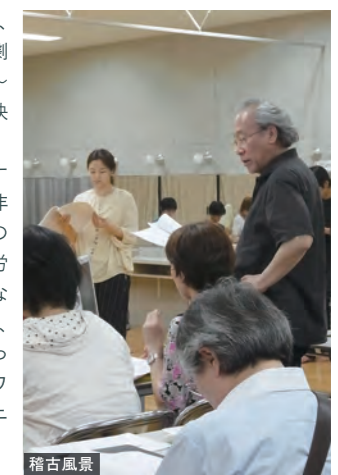
出演: 中村崇 南かおり 田中遊 武田暁 森田真和  
井上和也 廣岡綾【劇団ひまわり】 市村マチ 岡本依子 きのせまさき  
田中祐気 田淵詩乃 原田佳名子 福久聡吾 ミユキ 山田健人

この公演ではオーディションで選ばれた京都造形芸術大学学生とプロが一緒に舞台上に挑みます。



『ピュラデス』はパゾリーニが、アイスキュロス作ギリシャ悲劇『オレスティア』をもとに60～70年代にかけてのイタリアを映して描いた作品。

ピュラデスは理性的の女神アテナを信奉しながらも、「過去の力」「非理性性」にもひきつけられ、両者の間で苦悩する。また自分自身は「労働したことのない」身分でありながら農民の素朴な生に憧れたり、市民のうちの(異質な者)であったりするところにも、ブルジョワである自分を嫌悪したパゾリーニ自身が投影されている。



稽古風景

### 6 june 2013

22日(土) 19:00 23日(日) 15:00 ◆studio21  
**リーディング『ピュラデス』** ◎特集▶P.7  
 【入場無料(要予約)】 ※未就学児の入場はご遠慮下さい。  
 ◎予約お申込先: **T-C** リーディング『ピュラデス』予約フォーム  
<http://k-pac.org/performance/20130503b.php>

### 7 july 2013

1日(月) 16:30 公開連続講座⑩  
**日本芸能史「上方舞」** 実演: 山村若  
 ◆春秋座

6日(土) 17:00 7日(日) 14:00 ◆春秋座  
**G・プッチーニ作曲 歌劇「蝶々夫人」全2幕** (原語上演・字幕付)  
 ◎特集▶P.3  
**【発売中・全席指定】**  
 S席 一般 9500円 シニア 9000円 友の会 8500円  
 A席 一般 7500円 シニア 7000円 友の会 6500円  
 学生&ユース席 2500円(座席範囲指定)  
**T-C OTS ぴあ e+ 新聞 生協**

8日(月) 16:30 公開連続講座⑪  
**日本芸能史「日本舞踊」** 実演: 坂東温子  
 ◆春秋座

12日(金) 18:30 ◆春秋座  
**東西狂言 華の競演** ◎特集▶P.6  
**【発売中・全席指定】**  
 S席 一般 6000円 シニア 5500円 友の会 5000円  
 A席 一般 5000円 シニア 4500円 友の会 4000円  
 学生&ユース席 2500円(座席範囲指定)  
**T-C OTS ぴあ e+ 生協**

15日(月・祝) 16:30 公開連続講座⑫  
**日本芸能史「壬生狂言」** 実演: 壬生大念仏講  
 ◆春秋座

22日(月) 16:30 公開連続講座⑬  
**日本芸能史「シンポジウム 伝統と近代」**  
 ◆春秋座

21日(日) 15:00 ◆春秋座  
**新世紀映画「彌勒 MIROKU」フィルムオーケストラ ver. 完成披露公演**  
 監督・脚本: 林海象 原作: 稲垣足穂  
 出演: 永瀬正敏、佐野史郎、井浦新、近衛はな、福本清三、四谷シモン、土村芳(本学映画学科俳優コース4年生)と彌勒少年達  
 京都造形芸術大学映画学科教授・林海象による新作映画。当劇場では、台詞と効果音はスクリーンから聴こえ、音楽は渡邊崇率いる「Sound on Film」の音楽家たちによる生演奏で上演するフィルムオーケストラ版を上演します。当日は出演者も集結。  
**【発売中・全席指定】** ※お得なチケットもあります。詳しくは「彌勒 MIROKU」HPへ  
 一般 5000円 学生 2000円  
 ◎主催・チケットに関するお問合せ: ミロク革命社 Tel.075-708-6199

### 8 august 2013

4日(日) 13:00 ◆映像ホール  
**ロシア・ナショナル・バレエ「眠れる森の美女」全2幕** ◎特集▶P.1-2  
**チャイコフスキー三大バレエを学ぶ**  
 京都芸術劇場では「白鳥の湖」(2002年)、「くるみ割り人形」(2009年)、そして本年「眠れる森の美女」と、チャイコフスキー三大バレエ全作品が上演することを記念し、舞踊評論家の桜井多佳子さんをお迎えして、チャイコフスキーの生い立ちや三大バレエの作品の紹介、魅力、成り立ちなどを、上演映像を交えながらお話いたします。  
 チャイコフスキー・三大バレエにのみ特化したレクチャーはなかなか行なわれませんので、大変貴重な時間となることでしょう。「レクチャー」とはいえ、お客様からご年配の方までご興味を持っていただける内容となっておりますので、皆様でご参加ください。  
**【入場無料・要事前申込】**  
**講師: 桜井多佳子**  
 舞踊評論。大阪市生まれ。1992年ロシア国立劇場芸術大学(モスクワ)研修。日経新聞、ダンスマガジンなど新聞・雑誌ほかに舞踊批評、レポート、インタビューなどを執筆。ベルミ(ロシア)国際バレエコンクールプレス審査員、ヴィチエフスク(ベラルーシ)国際振付コンクールプレス審査員、韓国国際舞踊コンクールVIP審査員ほか。文化庁長官表彰選考委員、文化庁国民文化祭実行委員、同芸術選奨選考委員、同芸術祭審査員などを歴任。現在は日本芸術文化振興会のプログラムオフィサーも勤める。海外取材は36ヶ国に及ぶ。著書に「感じるバレエ」(文芸社)、共著に「バレエ・ギャラリー30」(学研)、「ロシアの文化・芸術」(生活ジャーナル)。  
**T-C** 劇場HP・公演特設サイトに予約フォームあり



11日(日) 15:00 ◆春秋座  
**第2回 瓜生山芸能祭**  
 日々様々な芸能活動に動んでいる本学の学生たちが一堂に会し、日頃の成果を披露する祭典。  
**【発売中・全席自由】**  
 一般 800円 学生 500円 小学生 300円  
 未就学児 無料(座席が必要な場合は小学生同様)  
**T-C** 和太鼓教育センター Tel.075-791-9145 (平日10時~18時)

### 9 september 2013

1日(日) 14:00 ◆春秋座  
**響きeyeコンサート**  
**【7月1日(月)発売・全席自由】**  
 一般 1300円 友の会 1100円  
 小学生以下 800円 小学生以下友の会 600円  
 3歳児以下無料(席を要する場合は800円)  
**T-C** 和太鼓教育センター Tel.075-791-9145 (平日10時~18時)

7日(土) 17:00 8日(日) 14:00 ◆春秋座  
**立川志の輔 独演会** ◎特集▶P.6  
**【発売中・全席指定】**  
 一般 4000円 シニア 3600円 友の会 3200円  
 学生&ユース席 1500円(座席範囲指定あり)  
**T-C OTS ぴあ e+ 新聞 生協**  
 ※学生&ユース席は京都芸術劇場チケットセンター、大学生協のみ取り扱い

9

september 2013

□ 音楽・舞踊 / 主催公演

13日(金) 19:00

◆ 春秋座

Percussion×Dance×Art

◎ 特集 ▶ P.4

ニルヴァーナ — 泥渇 —

土取利行 meets サルドノ W.クスマ

【6月26日(水)発売・全席指定】

一般 3500円 シニア 3200円 友の会 3000円

学生&ユース 2000円 瓜生山学園生 1500円

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

T-C OTS ぴあ e+ 生協

□ 講演・レクチャー

30日(月) 16:30 公開連続講座①

◆ 春秋座

日本芸能史「芸能史の近代 総論2」

講師：諏訪春雄

10

october 2013

□ バレエ / 主催公演

6日(日) 14:00

◆ 春秋座

ロシア・ナショナル・バレエ

◎ 特集 ▶ P.1-2

「眠れる森の美女」全2幕

【7月3日(水)発売、2日(火)友の会先行発売・全席指定】

一般 8000円 シニア 7500円 友の会 7000円

学生&ユース席 3000円 (座席範囲指定)

\*親子券——

一般・シニア1名につき中学生以下2名まで一般席1人3000円でご覧になれます。お申込みは京都芸術劇場チケットセンター(窓口・電話)まで。

T-C OTS ぴあ e+ KBS 新聞 生協

※学生&ユース席は京都芸術劇場チケットセンター、大学生協のみ取り扱い

□ 講演・レクチャー

7日(月) 16:30 公開連続講座②

◆ 春秋座

日本芸能史「舞楽」

実演：大阪楽所、解説：木戸敏郎

□ レクチャー・パフォーマンス / 主催公演

12日(土)、13日(日) 開演時間未定

◆ 春秋座

KYOTO EXPERIMENT

◎ 特集 ▶ P.5

木ノ下歌舞伎ミュージアム「SAMBASO」

～バババツとわかる三番～

【8月2日(金)11:00発売・全席自由】

料金未定 ※詳細は7月中旬、劇場HPにて発表いたします。

T-C OTS ぴあ

◎KYOTO EXPERIMENT チケットセンター Tel.075-213-0820 (11時～19時)

※お得なセット券もございます。詳しくは上記電話番号へお問合せ下さい。

□ 講演・レクチャー

14日(月) 16:30 公開連続講座③

◆ 春秋座

日本芸能史「舞楽」

実演：天王寺楽所雅亮会、解説：木戸敏郎

□ 講演・レクチャー

21日(月) 16:30 公開連続講座④

◆ 春秋座

日本芸能史「文楽」

理論：諏訪春雄

□ パフォーマンス / 主催公演

25日(金) 19:30 26日(土) 14:30 / 19:30

◆ 春秋座

※受付は開演の60分前

KYOTO EXPERIMENT

◎ 特集 ▶ P.5

superposition 池田亮司

【8月2日(金)11:00発売・全席指定】

一般 3500円 シニア 3000円 友の会 3000円

学生&ユース 3000円 高校生以下 1000円 瓜生山学園生 2500円

※当日券は各500円増し ※未就学児のご入場はご遠慮ください。 ※シニアは65歳以上 ※本作品は強いストロボと重低音・高周波を使用いたしておりますので、心臓の弱い方やペースメーカーをご使用の方などはご遠慮ください。

《26日(土)14:30の回、託児サービスあり》

有料1500円 要事前予約 Tel.075-213-5839

T-C OTS ぴあ ◎京都芸術センター

◎KYOTO EXPERIMENT チケットセンター Tel.075-213-0820 (11時～19時)

※お得なセット券もございます。詳しくは上記電話番号へお問合せ下さい。

□ シンポジウム / 共催企画

27日(日) 17:00

◆ 春秋座

関連企画シンポジウム

◎ 特集 ▶ P.5

「量子の世紀」のアート&サイエンス

【入場無料】

□ 講演・レクチャー

28日(月) 16:30 公開連続講座⑤

◆ 春秋座

日本芸能史「義太夫」

実演：竹本源大夫・鶴澤藤蔵

速報

11月28日(木)ー30日(土) 予定

◆ 春秋座

石のような水

タルコフスキーのいくつかの映画作品から

作：松田正隆(「マレピトの会」代表) 演出・美術：松本雄吉(「維新派」主宰)

出演：山中崇、他 製作：京都造形芸術大学舞台芸術研究センター

共同製作：フェスティバル／トーキョー

京都造形芸術大学舞台芸術研究センターでは、2013 年秋、旧ソ連を代表する映画作家タルコフスキーのいくつかの作品をモチーフに、タルコフスキーに魅了されつづけてきた劇作家・松田正隆(マレピトの会)と演出家・松本雄吉(維新派)がそれぞれのカンパニーを離れ、今目的な視点から大胆な視覚化・空間化を試みようとするオリジナルの演劇作品を製作します。

【2013年9月発売予定】

車椅子ご利用のお客様へ

劇場内にはエレベーター・エスカレーターの設備はございませんが車椅子から座席への移動が困難なお客様のために車椅子専用スペースをご用意しております。

ご希望のお客様はチケットご購入の際、チケットセンターへお電話にてお申込み下さい。

京都芸術劇場チケットセンター Tel.075-791-8240 平日10:00～17:00

2013年度 公開連続講座

日本芸能史「芸能史の近代」

[前期] (全13回+シンポジウム) 2013年4月15日ー7月22日

[後期] (全13回) 2013年9月30日ー2014年1月20日

毎月曜日 16:30ー17:50 受講料 各期13,000円

会場：京都芸術劇場 春秋座

◎お問合せ・資料請求先

京都造形芸術大学 京都芸術学会

(旧・瓜生山エクステンションセンター) [人間館 NA 棟中2階]

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116

Tel.075-791-9124 Fax.075-791-9021

受付 / 9時ー16時

休日 / 日曜日・祝日・入学試験実施日・年末・年始

T-C 京都芸術劇場チケットセンター

OTS 劇場オンラインチケットストア

ぴあ チケットぴあ—http://t.pia.co.jp TEL.0570-02-9999

L-T ローソンチケット

e+ イープラス—http://eplus.jp

CN CNプレイガイド

新聞 京都新聞文化センター(京都新聞社1F)—TEL.075-256-0007(10-17時 ※土・日・祝除く)

生協 京都、滋賀各大学生協プレイガイド

KBS KBS京都事業部—TEL.075-431-8300(10-17時 ※土・日・祝除く)

\*記載のないものについての開場は開演30分前 \*特に標記のない場合、前売と当日は同じ料金 \*ユースは25歳以下、シニアは60歳以上対象(一部公演を除く)

\*学生・ユース・シニアは身分証明書提示